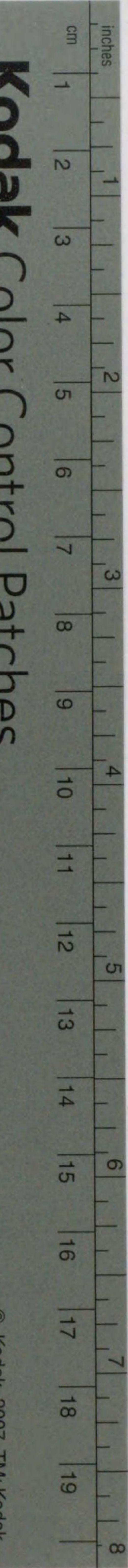


## Kodak Gray Scale

C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



御内閣第亜  
宣陽事  
生む事  
ち津多  
往古相接去  
至る事一  
被服事  
て白事  
今官事  
福多事

固保  
并蓄多仰  
并相接

并相接  
并玄市

并経源満从  
内玄仰

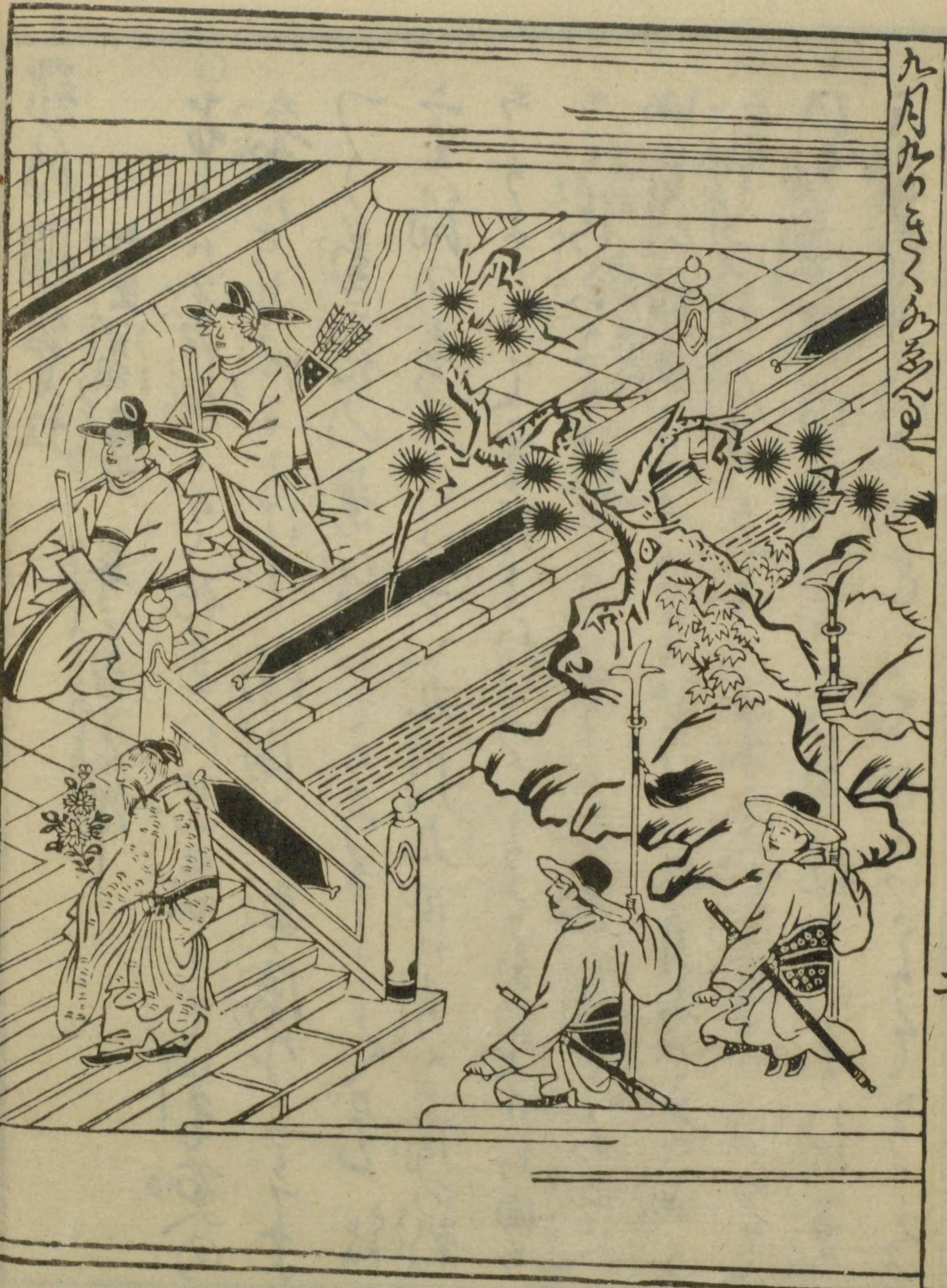
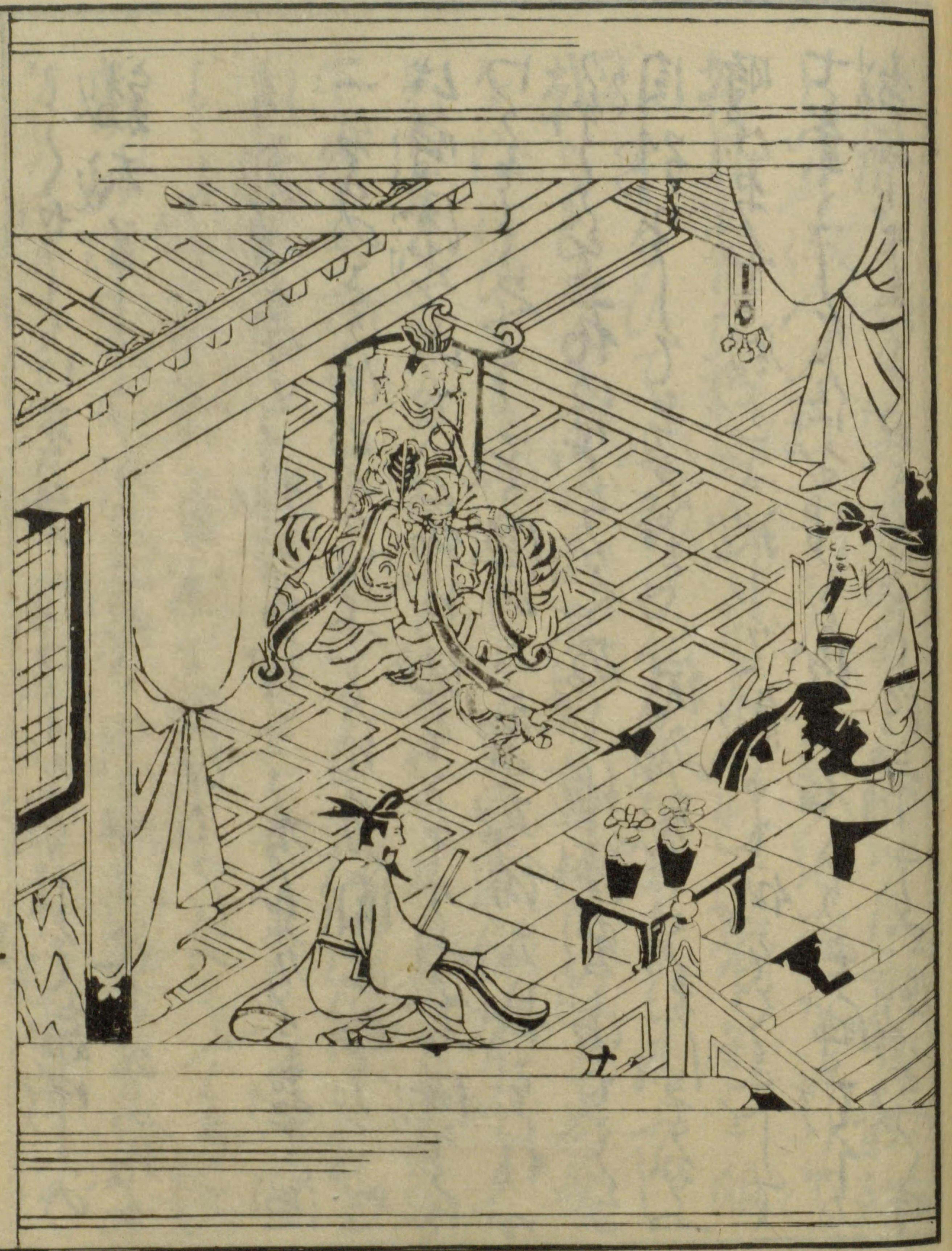
并例第



大正  
13.6.13  
内文

卷五  
齊摩集  
教陶滴流考  
津村多  
住吉神送

御は禮第立  
重陽事  
并著重陽傳  
○あひに重陽日にて作き。其衰こそ。茱萸の  
香をかねる。かねる。其風よ重陽とす。ま  
つ。菊の事。かこまつ。是。其  
重陽の事。九月九日。陽の教  
す。重陽の事。重陽といふ。まこと重陽をりしゆ  
て。後もする。む。む。重陽房とす。他  
めの重陽より。重陽。が自力する。めう  
家。づきりりある。また。重陽の事。めう  
ひじりりけ。よ。よ。よ。よ。重陽とのまじ。ば重  
え。え。え。え。



はくやうひを効へばすうちとて。お中  
熟大羊とくとくおき。れくのふぢ  
すもうてきよ。薦湯をのぼつてくとく。  
後走眼。羊ち殿のちかよ。かくかくよ。室圖  
ニキのとうひよとん。効因よりうくや。  
は序流とのりい。病はゆき。そりあす傳き。  
ワキとくとく。えく温のこまち傍ち藏され。  
うそそ。病のとうひ。がく。け湯唐治わ。か  
因引り。そとまく。そと寝み。うまくしまま  
時。おまを歎くよ。せりて。例もひくと  
さかうて。住よは。おまく。そ時。すよ  
刻。すよは。おまく。そ時。

狼とくとく。あやまちぬづん。お時。熟大  
とく。のらくうの。薦湯。祀を折て。  
九月九日よ。おまく。おまく。おまく。おまく。  
一とく。おまく。近す。七牛脚を。そりうひよ。じ  
秋らき。漢の。おまく。薦湯とのまく。おまく  
をゆひ。おまく。おまく。おまく。おまく。おまく。  
先ひ。す一日よ。おまく。おまく。おまく。おまく。  
おまく。おまく。おまく。おまく。おまく。おまく。  
おまく。おまく。おまく。おまく。おまく。

生むる

同九日

おまく。おまく。おまく。おまく。おまく。おまく。  
おまく。おまく。おまく。おまく。おまく。おまく。  
おまく。おまく。おまく。おまく。おまく。おまく。

やよきあり。か雲一枝とまくらがけ  
えも津多兵衛機 同十日

○傳統ある。活陽子とまくらがけ。やよき依雲  
もくらがけ。そ乃く。氏人三吉相模守とじし  
め相馬とさへめぐる。極わ相馬とく。紫  
中より。七月廿九日。さのる。まくらがけ。  
にてをとせよ。どく。おほき。伝馬人  
をうへ。ど馬とくとくとく。伝馬の傳馬人  
事とく。おとく。相模人をちくとくとく。伝馬  
よ相模はとく。もと。伝馬敵よ。相模守とく。ば  
たのお禮人。皆鬼のとく。おねそとく。西とく  
きゆひとく。猪突あく。おれと因みとく。



たハ日よ石倉とよあひ。てむきあひ。お席うる。  
女れりよ。板せうどりよ。その中れじよ。ば  
らくもと。あめりわゆふ。板せうどりよ。そを  
相模のむとうり。まにてきの後時。青麻のじ  
よ。砲車とくらひ。角をもとためらちのち  
はくにりのり。びーーーーーーーーーーーーー  
つゝくをみゆめぬ。生まきのまうけ  
乃能ねとすりの仕ぐ。まく。射る。射  
相模と。あめりわゆふ。野をなむら  
砲車が胸をうちて。砲車がちう。そ相模の邊  
車りす砲車と。もととつしのり  
くのゆきのわく

妙房

さはの林あてまよ



## 伊豆相模の事第五回

月ナニ日

む。朝日假名をつて相模製である。そ  
もい程かにう釋法を追ひあつて時例を

うく。中御てうとよも。ちうく。

うく。中御てうとよも。ちうく。

うく。中御てうとよも。ちうく。

うく。中御てうとよも。ちうく。

うく。中御てうとよも。ちうく。

うく。中御てうとよも。ちうく。

うく。中御てうとよも。ちうく。

佐吉あらわすの事



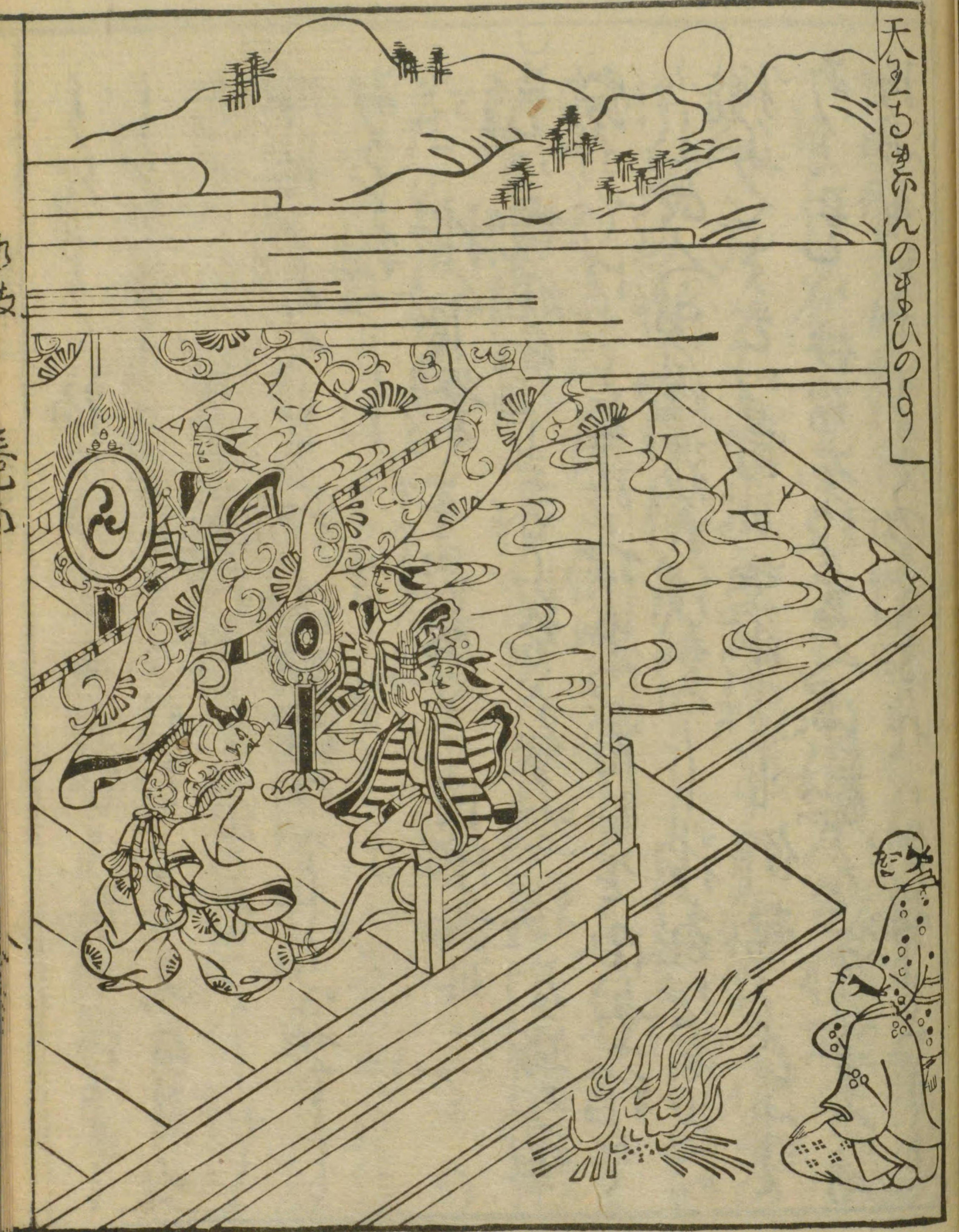
うのわく。御殿ちをどく。御殿はく。うのゆせうとく  
あづきしわく。あづきしわく。あづきしわく。

歌

天王寺一寺庵。并結はん。月十四日

歌鏡はん。

春日神よつて。一多吉とくとくひめよみ  
さーに。はな葉庵をかむ。おうへく裏  
やくふくらむ。ほんぐの舞わると。まこととてあるのよ  
りとくとく風船。華蓋よこう。物の景ま  
ねえ。だ。甘鳴うれ。ありりん。まくか  
まくか。もし。神乃そざとこれ船は  
まくらよ。あれやくとく歌をかく  
くをゆくひが。のとく  
ハ。御のあづきせ



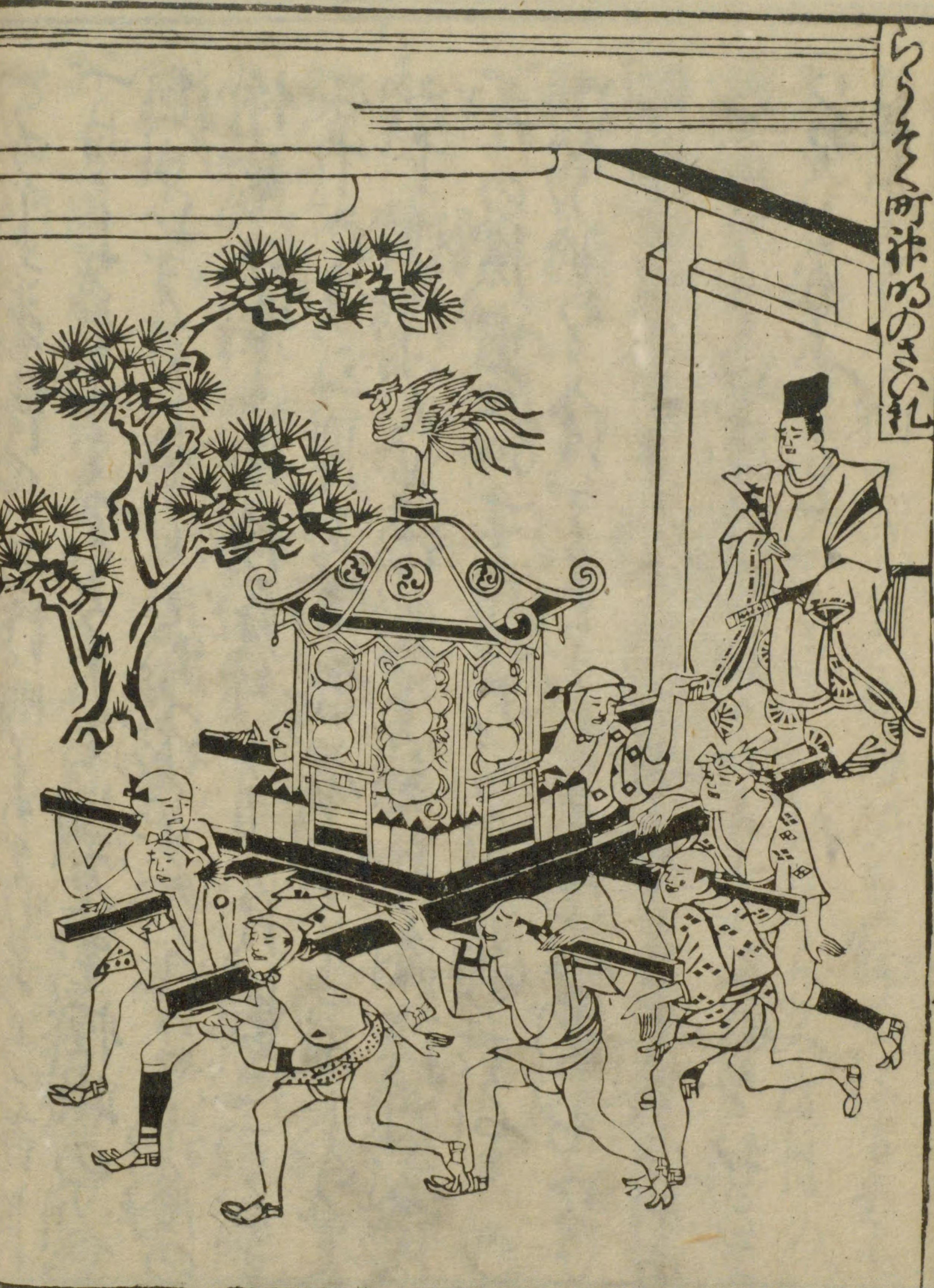
うららら。物つらやめひも。物のねむき  
うらがいへり。され。もし。又四月の  
廿日と。縁縫瀧<sup>けんえい</sup>にと。とよまつてや。  
四月よ。わくく。和歌多ひや。づく  
あくまく。

補<sup>ほ</sup>用<sup>よう</sup>象<sup>ぞう</sup>并<sup>あわせ</sup>例<sup>れい</sup>聲<sup>せ</sup>

日十六日

○是<sup>そ</sup>は、眞鶴町<sup>まなづるまち</sup>よ。まくらをかみよ。一社<sup>いっしゃ</sup>も、鷺<sup>さぎ</sup>を御<sup>ご</sup>  
寄<sup>よ</sup>して。わざわざおひでゆ。高日<sup>たかひ</sup>と。湯<sup>ゆ</sup>を乳<sup>う</sup>や  
り。即<sup>そく</sup>人<sup>ひと</sup>も、湯<sup>ゆ</sup>をあはせ<sup>あせ</sup>。一<sup>いつ</sup>社<sup>いっしゃ</sup>も、あをじら  
ひく。まもば。高日<sup>たかひ</sup>を夢中<sup>ゆめぢゆ</sup>す。例<sup>れい</sup>聲<sup>せ</sup>と。あく  
あり。是<sup>そ</sup>は、伊勢<sup>いせ</sup>ちゆゆく。あ。聲<sup>せ</sup>と。あくす。あ  
く。身<sup>み</sup>を。よ。の。身<sup>み</sup>を。れい。例<sup>れい</sup>聲<sup>せ</sup>と。よ。

ちよと、利<sup>り</sup>害<sup>がい</sup>の間<sup>ま</sup>隙<sup>すき</sup>よ。あらう。而<sup>が</sup>則<sup>そ</sup>  
一<sup>ひと</sup>目<sup>め</sup>よ。うらう。うらう。うらう。うらう。眼<sup>まなこ</sup>の、人<sup>ひと</sup>  
うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。  
住<sup>す</sup>るの、よ。うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。  
二年<sup>にねん</sup>を、三月<sup>さんげつ</sup>よ。像<sup>ぞう</sup>を、金<sup>かな</sup>と<sup>と</sup>て、うらう。  
あす<sup>あす</sup>は、神<sup>かみ</sup>を、と。あすは、内<sup>うち</sup>を、渉<sup>わた</sup>る。  
雀<sup>すずめ</sup>の、後<sup>あと</sup>を、うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。  
うらう。うらう。うらう。うらう。官<sup>くわん</sup>聲<sup>せい</sup>を。うらう。うらう。  
うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。  
うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。うらう。



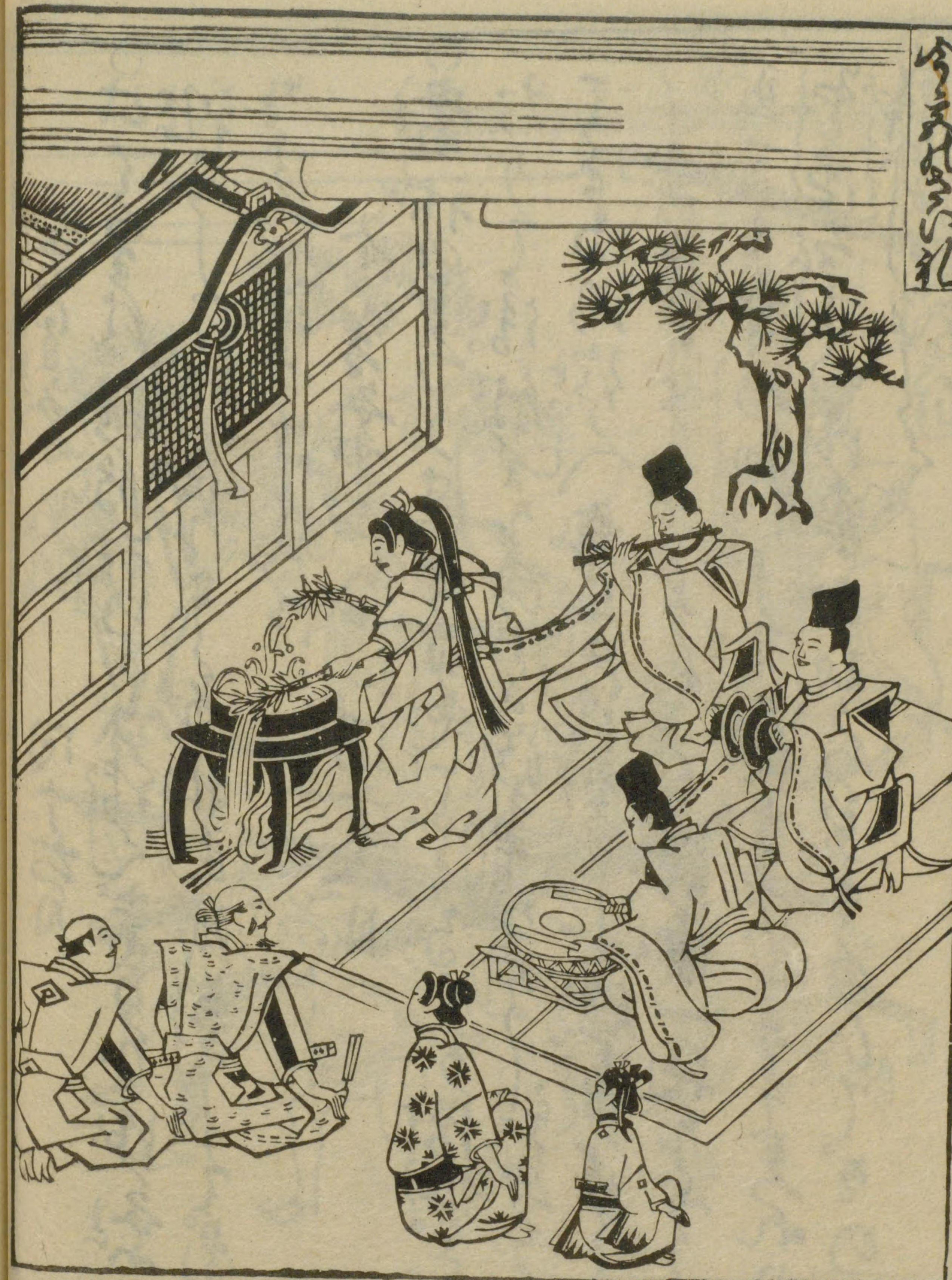
四十八日

はるはる。朝は木のくらむと。高ひとが奈  
良と。お閣をもとめが。おもて成る。おも  
てまくらでまくら

今宵無

四十八日

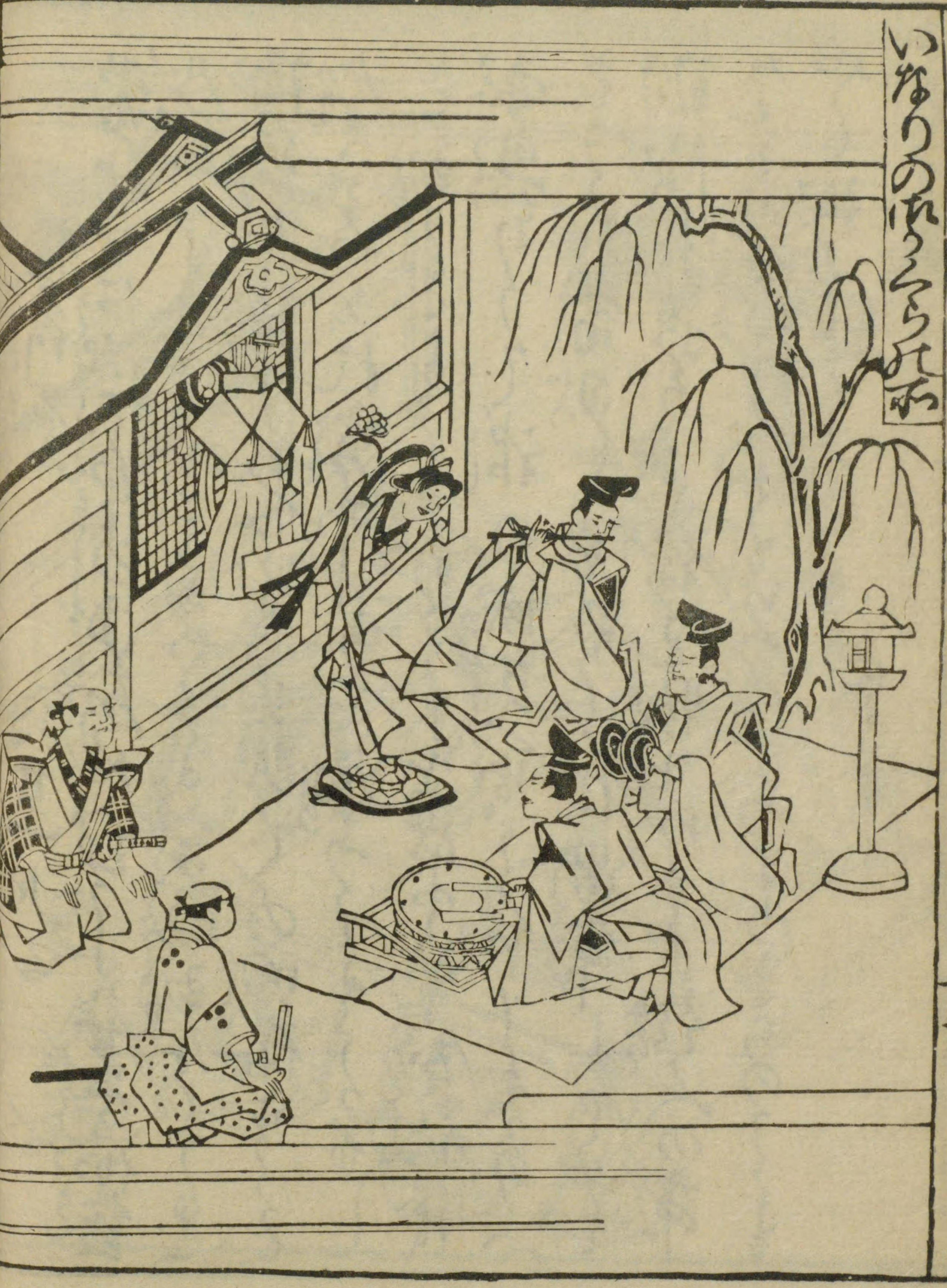
書物のまくらは。今日や。まくらのう。傍宿を  
たりて。活版よ。あや。お車をもとめ。まくら  
をもとめ。お車。車をもとめ。お車。お車。  
しもくをもとめ。お車。お車。お車。お車。  
お車。お車。お車。お車。お車。お車。お車。  
お車。お車。お車。お車。お車。お車。お車。  
お車。お車。お車。お車。お車。お車。お車。



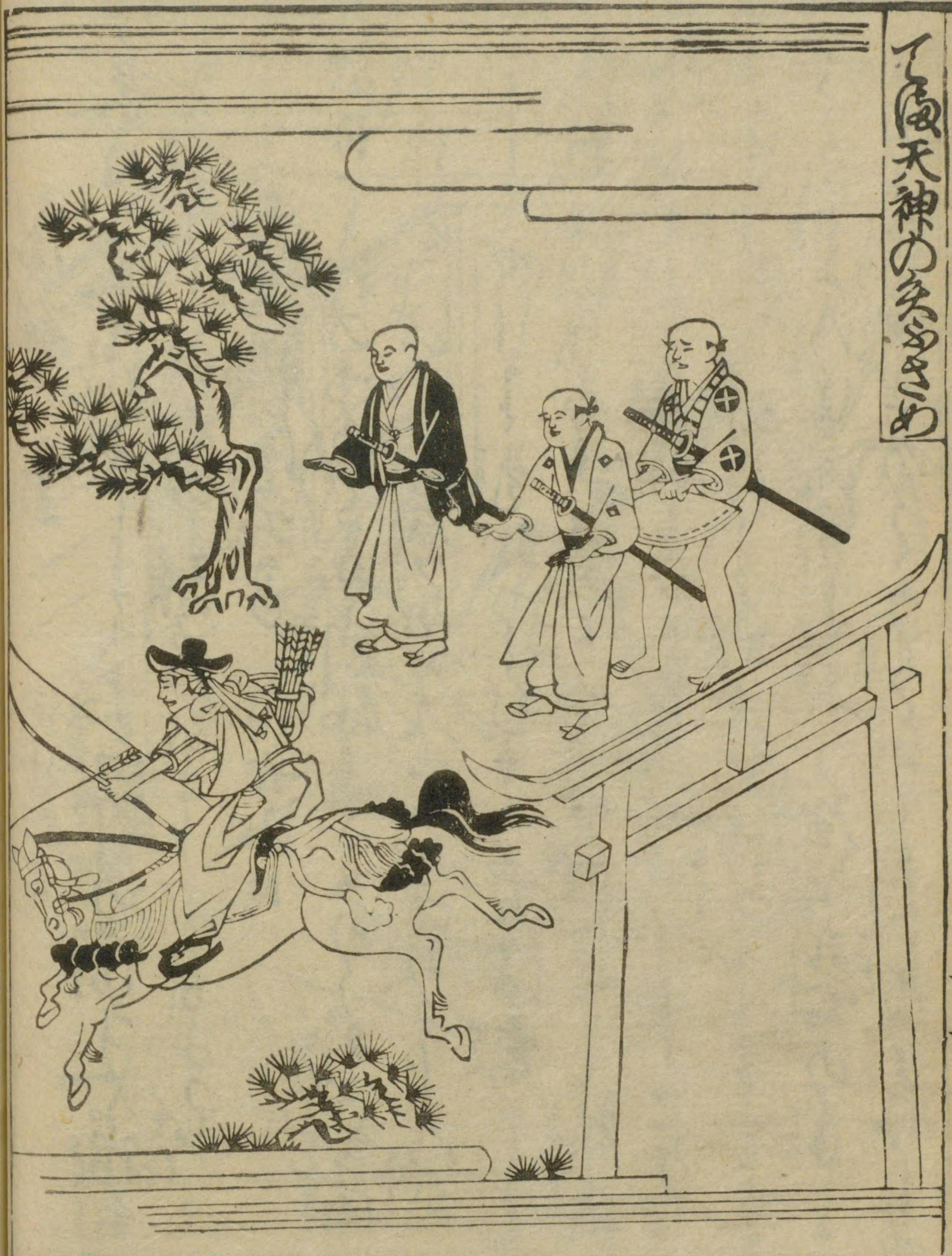
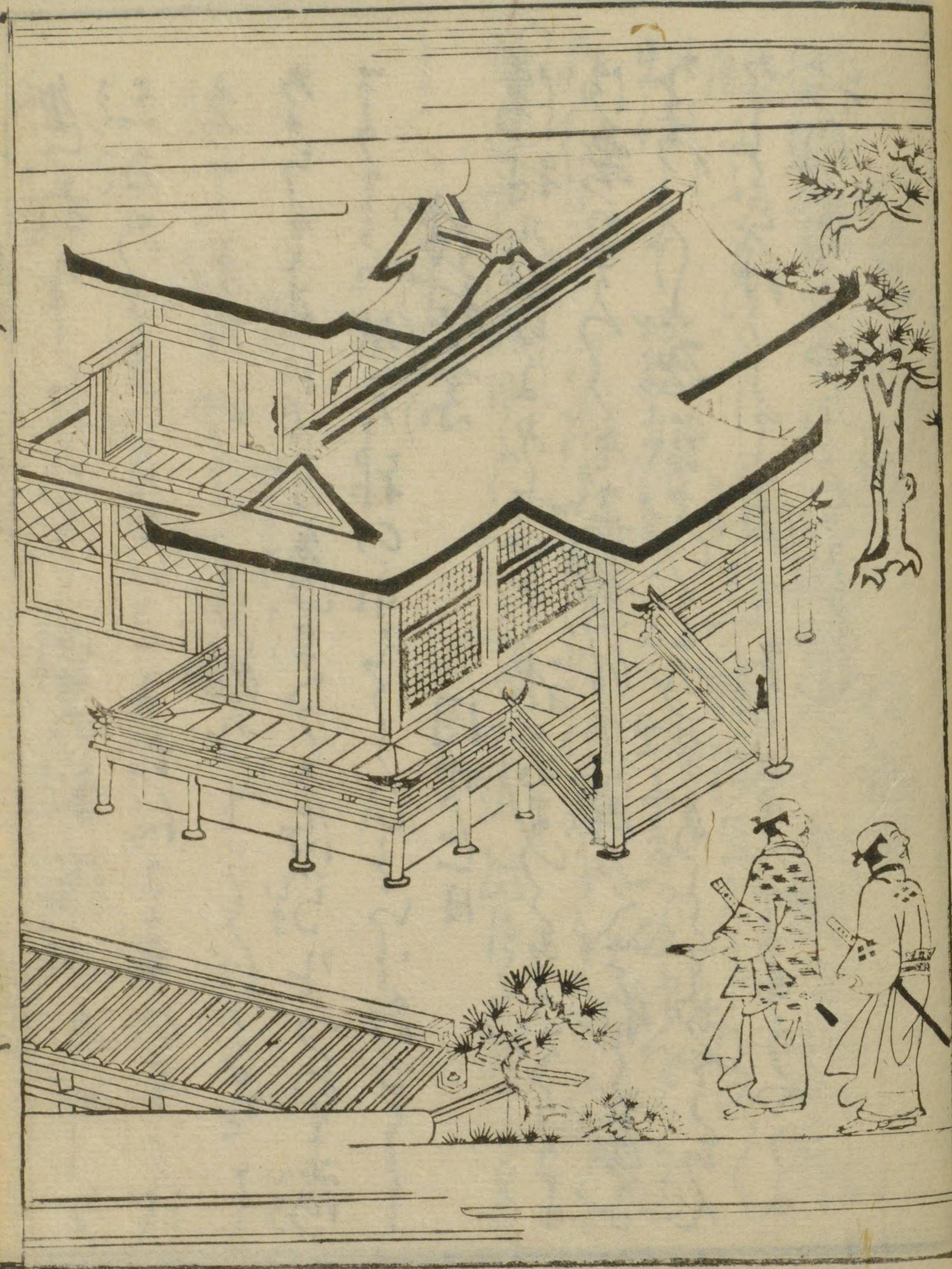
日廿一日

稻子行家  
○當初は仕事で向うの旅館や。そこを伽藍  
乃れや。まちあや。おみやげを貰ひ  
猪馬を連れて。まじの回禄まじのまつり  
ゆき。さがれ家井ありて。物あつてあし  
と。むつこよつよわうと。ばやかねば  
無事ありて。詔の威をあらわす  
やう。者目や。そのうは。男年  
那波は。うふ。ねを物たり。作人の事  
やう。あう。うふ。うふ。うふ。さめとく  
や。や。

同廿二日  
元年春集  
○萬日と沙翁引  
をもる。氏ゾのまほわび  
ち薦胸脇をもる 同廿二日  
は日て紳のあわせや。前や  
たの門の前よ。茶屋わ。茶屋のあ  
り。と。やうと。おれがつて。もくもく  
繕歌。よ。は。も。り。は。お。も。そ。と。か。の。ね。り。と。禁  
ひま  
くらよ。ゆ  
と。た。の。ふ。よ  
と。た。の。ふ。よ



伊豆天神の夜をさむれ



卷之三

十一

同人題

卷之三

卷之三

